

武蔵野市地域自立支援協議会地域移行部会活動報告

地域移行部会 部会長

ライフサポート MEW 小原 光文

部会開催日 7月25日（水）、8月24日（火）、10月13日（水）、11月29日（月）、3月3日（木）

場所：ライフサポート MEW

1. 今年度の活動概要及び活動の目的について

自立支援協議会は今年度から始めて地域移行部会が設置されました。部会として取り組む内容は武蔵野市障害者計画・第6期障害福祉計画の重点的な取り組みの一つに「地域生活支援の充実」を掲げており精神障害者の地域移行支援の推進が課題となっています。武蔵野市民が長期に精神科に入院されている実態を把握し、その結果を基に地域移行に向けた課題を精査し、最終的には自立支援協議会に今後の地域移行支援の在り方について報告していく。

第1回地域移行部会開催 7月25日（水）

「武蔵野市自立支援協議会の活動方針について」と題して岩本部会長から配布資料をもとに、自立支援協議会の方針を話してもらいました。次回の会議は精神障害者の地域移行支援の推進が課題になっていること、また精神障害者の歴史的な背景について共通理解をするために講演会とし、次々回の会議は東京都ピアサポーター活用事業を行っている地域活動支援センタープラッツの方を呼んで話を聞いた上で調査を実施することにしました。

第2回地域移行部会開催 8月24日（火）

第2回目の地域移行部会では精神障害者の歴史的な背景について共通理解をするために、当部会員で武蔵野市自立支援協議会長でもある岩本部会長に「精神保健福祉施策の経緯と地域移行における課題」について話を聞きました。話を聞いて部会員から「地域移行に向けてできることがたくさんあると感じた」当事者からは「病院に入院している時にどうしても地域に戻りたかった。ピアの活動によって地域に戻ることができた」「話を聞いていてイメージが膨らんだ。」という感想が聞かれました。

第3回地域移行部会開催 10月13日（水）

今回は実際に都内で地域移行を調査、研究している地域活動支援センタープラッツの毛塚 和英さんを招いて「東京都の精神障害者地域移行に関する状況について」と題して講演を聞きました。参加者から「ピアノ養成が重要という点、ピアの役割について再確認できた」「回答する側の負担にならないように、必要なことを聞くべき」「調査の集計結果を病院にも返し、病院の担当者とも繋がっていくことが必要」などの意見が聞かれ、部会員の共通理解を深めることができました。

第4回地域移行部会開催 11月29日（月）

今回の会議では近隣の精神科病院へ長期入院者へのアンケート調査項目の検討について話し合われました。実施方法については調査票を病院担当者に送付して記入してもらう。病院の担当者と連絡が取りあえるようにし、担当者を知ることによって継続したかわりがある。一つの封筒で病院長宛てと担当者宛て2部にしてアンケート調査を依頼する。調査の主体は障害者福祉課とすることを決めました。早速、調査項目案を作成して部会員に意見をお願いして、別紙の最終案を完成しました。

3月3日（木）障害者福祉課で送付作業を行うことに決まりました。

調査回答の締切は郵送してから1月後とし、武蔵野市民が長期入院されている実態を把握し、その結果を基に地域移行に向けた課題を精査し、関係者により協議して自立支援協議会に報告をしていくこととしました。